

2020年6月18日

## AGCの調光ガラス WONDERLITE<sup>®</sup> Dxが トヨタ自動車株式会社 新型ハリアーに世界初採用

AGC（AGC株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）の調光ガラス WONDERLITE<sup>®</sup> Dxが、6月17日にトヨタ自動車株式会社から発売された新型ハリアーのパノラマルーフに採用されました。本製品は、自動車用外装ガラス向けでは世界最速<sup>\*1</sup>の瞬時に透過光を制御できるガラスで、量産車に世界で初めて採用されました<sup>\*1</sup>。

当社の調光ガラス WONDERLITE<sup>®</sup> Dxは、2枚のガラスの間に特殊なフィルムを挟み込む合わせガラスの構造になっており、調光モード（不透明な状態）では日差しの眩しさを和らげ、透過モード（クリアな状態）では開放感を楽しめ、365日いつでもパノラマルーフから心地よい光が降り注ぐ車内空間を実現します。



調光モード（不透明な状態）\*2



透過モード（クリアな状態）\*2

AGCグループは、経営方針 **AGC plus** の下、世の中に「安心・安全・快適」を、お客様に「新たな価値・機能」をプラスする製品づくりに取り組んでいます。今後もお客様に満足頂ける、新たな価値をプラスした製品をご提供できるよう技術革新を進めてまいります。

以上

\*1 当社調べ。

\*2 写真は、新型ハリアーのパノラマルーフとは異なる。

---

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC株式会社 広報・IR部長 玉城 和美

（担当：宮川 TEL: 03-3218-5603 E-mail: [info-pr@agc.com](mailto:info-pr@agc.com)）

\*個人情報 は当社プライバシーポリシーに従ってお取り扱いをさせていただきます。

## ご参考

### 調光ガラス WONDERLITE® Dx の技術的説明

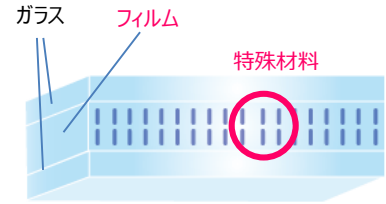
#### <構造>

調光ガラスは、2枚のガラスの間に特殊なフィルム<sup>\*3</sup>を挟み込む合わせガラスの構造になっており、フィルム中には目に見えないほどの小さな特殊材料が詰まっています。

調光モード⇔透過モードのどちらの場合も紫外線を約99%カット<sup>\*4</sup>します。

\*3 九州ナノテック光学株式会社製 特殊フィルム

\*4 ISO9050 基準



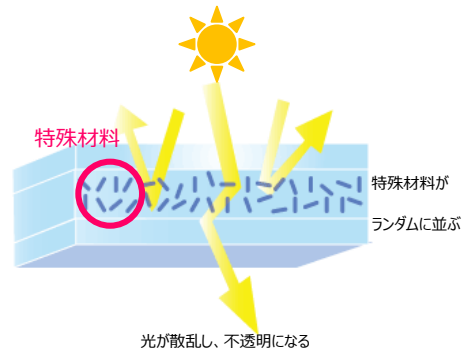
#### <仕組み>

2枚のガラスの間に挟み込んだフィルム中の特殊材料の分散⇔配向を電圧でコントロールすることで、調光モード⇔透過モードを瞬時に切り替えられます。

#### 調光モード（スイッチオフの不透明な状態）



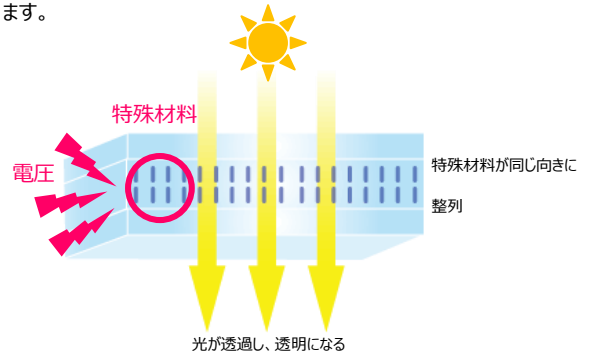
特殊材料がランダムに並んでいるため、外からの光が散乱されガラスは不透明になり、眩しさを低減します。



#### 透過モード（スイッチオンのクリアな状態）



フィルム内に電圧を加えると、特殊材料は同じ向きに整列し、外からの光を通すのでガラスは透明になり、開放感のある空間を楽しめます。



◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC株式会社 広報・IR部長 玉城 和美

(担当：宮川 TEL: 03-3218-5603 E-mail: [info-pr@agc.com](mailto:info-pr@agc.com))

\*個人情報は当社プライバシーポリシーに従ってお取り扱いをさせていただきます。